

TC 通信

No 97 2021年1月号

- ◆ティーンズ世代=10代のための読書情報誌です。
- ◆ご紹介する本は特に記載がない限り、図書館3階ティーンズコーナー所蔵です。



ティーンズコーナーに新しく入った本からピックアップ。



『サード・プレイス』

ささき あり/作 フレーベル館 913/フレ/20

中高生の利用できる市の施設「サプリガーデン」。そこは“自由”に過ごすことができ、“やりたいこと”に挑戦できる場所。家庭でもない学校でもない第三の居場所「サードプレイス」。

友達に自分の趣味を言えない瑞希、自分だけ外れていると感じているダイ、まわりの変化についていけないびよっち、そして勉強だけが取り柄だと思っていたのに有名私立に入ったらなんとビリ!?という亮、さまざまな悩みを抱える4人の物語。彼らはサプリガーデンでのふれあいの中で、“きっかけ”をつかみ自分の可能性を見つけだしていく…。

読み終わると、こんな場所が近くにあったらなと思ってしまいます。

この作品は、作者の子どもたちに対する視線がとにかく優しい! いろんなことに悩んでいるあなたたちにぜひ読んでほしい一冊です。

名作 たからばこ



『長谷川町子全集1 サザエさん1』

長谷川 町子/著 朝日新聞社 726.1/ハ/11

日曜日の夕方と言えば、サザエさん!!日本の定番ですよ。そんなサザエさん、実は新聞の4コマ漫画だったのをみなさんはご存じでしたか?この全集にはその4コマ漫画が収録されています。

終戦直後や戦後の高度成長期など、昭和の暮らしの良い面・暗い面を面白おかしく描いています。読んでいるとその時代を体験していない私たちにも懐かしさを与えてくれるから不思議なものです。

さてさて、もちろんみなさんご存じのアニメの主要キャラクターも登場していますよ。カツオくんにワカメちゃん、フネさんに波平さん。マスオさんも登場します。アニメとは違う顔つきですが、髪型には特徴が表れています。みんな大好き波平さんの髪型はちゃ〜んと一本ですよ☆こんな風にアニメとの違いを探しながら読むのも楽しいかもしれません。

テーマ 神社 仏閣

年の始めには、神社やお寺に行って祈願したり一年の誓いを立てたりした方も多いのでは。神社仏閣にちなんだ本を紹介します。

『結び蝶物語』 横山 充男/作 あかね書房 913/アカ/18



中学生のあかりは、家紋デザイナーの祖母の家で「二つ蝶」の家紋に出会い、自分のルーツに興味を抱く。残っている資料から滋賀、兵庫、京都と神社を訪ね歩き、スケッチをしながら先祖に思いをはせると…。徳川家康と少女、古墳時代の石工と巫女、坂本龍馬と菓子屋の孫娘と時空を超えた先祖たちの三つの物語をあかりがつなげていく。

現在のお話から、突然幻のように歴史的なお話が入ってくるので、ちょっとあれっ？と思ってしまうかもしれませんが、偉人のエピソードなどはおもしろく、「なぜ生きるか」を考えさせてくれるお話。ここに出てくる神社はすべて実在のもの、ぜひ実際に足を運んで、“自分”というものを見つめ直してみても？

『キャラ絵で学ぶ！神道図鑑』

山折 哲雄/監修 いたう みつる/絵 小松事務所/文 すばる舎 17/キ/20 3階児童

日本では昔から「^{やおよろず}八百万の神」というように、たくさんの神様がいて信じられています。初詣や七五三、厄払いなど、神社に行く機会も多くありますよね。

しかしそんな神様のことを私たちはどれくらい知っているのでしょうか。例えば有名な「^{あまてらす}天照^{おあみかみ}大御神」。ここ東海地方では特に有名な伊勢神宮のご祭神ですが、この神様について詳しいことを知っている人は少ないのではないのでしょうか。

今回紹介する本はそんな神様のことに詳しくなっちゃう本です。児童書なので、とても分かりやすく簡潔に書いてあり、入門としてぴったりの一冊です。せっかく日本にいるのだから日本の神様のこと、もっと知ってみませんか？



『西岡常一 時代を切り開いた世界の10人 第2期5』

高木 まさき/監修 茅野 政徳/指導 学研プラス（所蔵本での表記は学研教育出版）

28/シ/15-2-5 3階児童



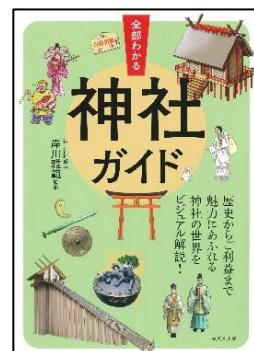
神社仏閣を造る大工を「宮大工」という。「最後の宮大工」とよばれた西岡常一。彼は小さな時から「法隆寺棟梁」であった祖父に鍛えられ、「宮大工の棟梁」へと成長してゆく。法隆寺の解体修理を通して、飛鳥時代の大工の知恵、木に対する理解と愛情深さ、古代建築のすばらしい技法を学ぶ。あくなき探究心で当時の道具「ヤリガンナ」を苦心の末に復元する。そして法隆寺、薬師寺金堂、同西塔といった世界最古の木造建築を創建時の姿によみがえらせたのである。

多くの困難を乗り越え、レジェンドを支えたのは、棟梁としての誇りと意地。ふーむ。読後、次に法隆寺や薬師寺を訪れたなら、彼の思いや日本文化の神髄が伝わってくるに違いない！

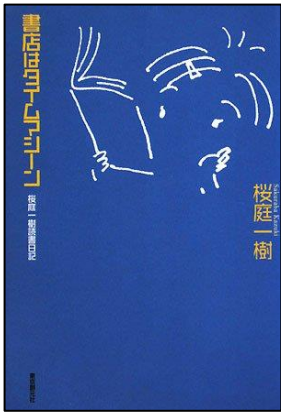
『全部わかる神社ガイド』

岸川 雅範/監修 成美堂出版 175/セ/20 4F一般

何気なく参拝している神社ですが（私だけかもしれませんが）、皆さんはそのルーツやまつっている神様など知っていますか？気になることはあるけれど調べるほどでも、と思っているあなたにこの本を紹介したいと思います。神話や神様、神社の信仰のグループ、ご進徳、歴史、基礎知識などがイラストや写真を交えてわかりやすく解説されていますので、これを読めばバッチリわかる！まさに題名通りの本なのです。それだけではありません。古事記や日本書紀に登場する神々と神社や所縁の関係性なども掲載されていますし、コラムには海外の神社や名作に登場する神社も紹介しています。さあこれを読んで神社巡りを始めましょう！



ボランティアさんのオススメ本 (アリスの会)



『書店はタイムマシーン』

桜庭 一樹/著 東京創元社 019/シ/08 4階一般

桜庭一樹が直木賞を受賞する前後、多忙なかでも読書に没頭し、合間に出版社の人々とのやり取りを交えながら、それでもひたすら本を語り尽くしている日記です。

桜庭一樹が率いる活字の虜ワールドに思わず足を踏み入れると、そこには古今東西タイムマシーンで時代を行き来する彼女オススメの本の宝物たちがひしめいています。

読書好きにはたまらない一冊、ぜひご一読を♪



日本の児童文学が一気に花開いた大正から昭和にかけての童話をご紹介します。「赤い鳥」「おとぎの世界」「金の船」「コドモノクニ」など多くの雑誌が次々創刊され、それまでの教訓的なおとぎばなしから、新たな創作を目指した。そして人間の内面を鋭く見つめ、現実的な情景として描いた児童文学の傑作が数多く生まれたのである。

人間の醜いエゴイズム(赤いろうせくと人魚)、純粋に生きる哀しみ(よだかの星)、大人になることの悲哀(小さい太郎の悲しみ)、見返りを求めない愛(杜子春)、などをテーマに描かれたこれらの作品をぜひ一読(あるいは再読)を!

“赤いろうせくと人魚”

『日本幻想文学集成 13』

小川未明

初夏の空で笑う女』

小川 未明/著 池内 紀/編

国書刊行会 918/二/V13 4階一般



“よだかの星”

『宮沢賢治童話全集 5』

よだかの星』

宮沢 賢治/著

宮沢 清六、堀尾 青史/編集

岩崎書店 913/イワ/16-5 3階児童



“小さい太郎の悲しみ”

『新見南吉童話集 2』

おじいさんのランプ』

新美 南吉/著 大日本図書

913/タイ/12-2 3階児童



“杜子春”

『芥川龍之介童話選集』

芥川 龍之介/原作

日本音声保存

CD/640/13-ア 3階CD





進路相談室



Q. 大学に進学するつもりですが、学科がたくさんあり、自分がやりたい分野がどの学科になるのかわかりません。何かよい本はありますか？

A. 『大学の学科図鑑』

石渡 嶺司/著 こさり みき、むらいちち/イラスト
SBクリエイティブ 376.8/タ/17



確かに大学には学科がたくさんあって、選びにくいですよね。全部見学に行くなんて大変ですしね。この本には、なんと158学科も収録されているだけではなく、取得できる資格や将来の就職先の職種、その学科で学ぶためにかかる金額など、わかりやすく解説されています。自分が将来なりたいものになるには、どの学科で学べばいいのか、どのようなことを学べばいいのかを調べることができます。漠然とした「やりたいこと」がまだ見つからない人にも、「どの学科で学ぶとこんな資格を取るのに役立つ」ということなどが掲載されていますよ。

子を持つ親としては、わが子の大学進学費用がだいたいいくらかかるかわかる、すばらしい本です。行きたい学科が決まっている人にもおススメ。この本で親を説得するのもありだと思います。

ティーンズコーナーとは??

中高生（ティーンズ）世代に向けたさまざまなジャンルの本を集めたコーナー。図書館3階にあります。大きな看板が目印！

児童書よりも文字数が多くむずかしい本へのステップアップをはじめ、悩み解決のヒントになる本・知識を深める本・趣味を広げる本などをたくさん用意しています。

「〇〇について調べたい！」
「△△の本はどこ？」など、
本に関する相談や探し物は
職員に気軽に聞いてみてね。



発行：春日井市図書館

愛知県春日井市鳥居松町5-44 TEL(0568)85-6800

<http://www.kasugai-lib.jp/>

※表紙画像の掲載にあたっては出版社から許諾を得ています。